

4. StoM社の概要（平成25年10月31日現在）

- (1) 商号 株式会社StoM（カブシキガイシャ エスツーエム）（※）
- (2) 本店所在地 宮崎県日向市船場町1番地1
- (3) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長・小濱泰昭（平成25年10月23日就任）
- (4) 主な事業内容 マグネシウム発電技術等に関する研究開発、知的財産の管理・運営
- (5) 資本金 25万円
- (6) 設立年月日 平成25年6月14日
- (7) 株主構成 小濱泰昭 100%

5. オリコン・エナジーの概要（平成25年10月31日現在）

- (1) 商号 オリコン・エナジー株式会社
- (2) 本店所在地 東京都港区六本木六丁目8番10号
- (3) 代表者の役職・氏名 代表取締役社長・二宮貞治
- (4) 主な事業内容 太陽光発電事業、エネルギー関連技術の研究開発、知的財産の管理・運営
- (5) 資本金 155百万円
- (6) 設立年月日 平成18年12月1日
(平成25年1月11日付でORWI株式会社より商号及び定款を変更)
- (7) 株主構成 オリコン株式会社 100%

6. 日程

- 平成25年10月31日 オリコン・エナジー取締役会決議
- 平成25年11月1日 本資本業務提携契約締結
- 平成25年11月5日 払込期日

7. 今後の見通し

本件が平成26年3月期の当社の連結業績に与える影響は軽微であると考えております。今後、開示すべき重要な事象が発生した場合には、当該情報について速やかに開示いたします。

※ご参考

StoM社のStoMは、Sun（太陽）to Mg（マグネシウム）を意味しており、小濱氏が推進するマグネシウム・ソレイユ（太陽エネルギー）プロジェクト（以下、「当プロジェクト」という。）の実現の願いを込めて命名されたものです。

砂漠太陽光のエネルギー密度は、ほぼ3kW/m²であり、日本の3倍、日射量ではおよそ7.5倍にも達しています。このことから、日本の全消費エネルギーをおよそ120km四方の砂漠に注がれている太陽エネルギーで賄えることが導き出されますが、問題はエネルギーの輸送方法です。当プロジェクトは、地球上にほとんど無尽蔵に存在するマグネシウムを太陽エネルギーのキャリア物質として利用することによって、この問題を解決させようとする取り組みです。具体的には、臨海砂漠地帯でマグネシウムを精錬して太陽エネルギーを封じ込めた上で日本へ海上運搬し、国内でマグネシウム燃料発電によって電気エネルギーや熱エネルギーを発生させます。当プロジェクトに関わる技術は、東北大学が実績を有する集光式太陽炉をベースとした概念に基づいており、現在、世界中で一般的に用いられているマグネシウム製錬方法の一つであるピジョン法における熱源を石炭ガス燃焼熱から太陽熱に置き換えたただけですので、小濱氏は、効率的かつ経済的に当プロジェクトの成立性が高いと判断されています。

以上